



上野 ひとかず

第6号 2010年3月30日
発行 兵庫県議会議員
上野ひとかず (辻川)事務所
〒679-2204 神崎郡福崎町西田原1253番地2F
TEL/FAX 0790(22)6805
E-mail ueno@kanzaki-gun.org
ホームページ http://www.kanzaki-gun.org

第304回兵庫県議会の特徴点

(井戸知事3期目、民主党連立政権下で初の予算)

第304回兵庫県議会は、平成22年2月17日から3月23日までの35日間にわたり開催されました。

今回の定例会は、井戸知事3期目、民主党連立政権下、初めての予算であり、「コンクリートから人へ」が具体的にどうなるか、また、新行革プラン（行財政構造改革）3年目の見直し・総点検に向けてどうなるか、また、議員定数等調査特別委員会の報告を受けて、定数削減がどうなるか等の特徴ある定例議会でした。私は、その大変重要な議会で、予算特別委員会、またこの

1年間、議員定数等調査特別委員会に所属をして連日議論に加わってきました。開会日の17日、知事は、「変化の兆し」として、一

つは、地球規模の構造変化、二つは、環境の変化、三つは、社会の変化、四つは、地域の変化、五つは、生活の変化を挙げられ、「新時代に向けて」、こうした変化は、これからの私たちの生活に大きな影響を及ぼします。時代は今、まさしく大転換期にあると言えるでしょう。新しい時代の入り口に立つ今こそ、新しい社会の枠組みを構築し、変

化を乗り越えて力強く前進するための布石としなければなりません。その一は、危機管理を徹底し、安全安心の基盤を整えることです。その二は、人口減少社会の元気の源を育てることです。その三は、地域が、地域らしい活力を発揮できる社会をつくることです。その四は、兵庫が自立し、新時代を先導する枠組みを築くことです。

以上の基本的考えのもと、平成22年度は、「安全安心」「生活優先」「環境優先」「産業立県」「交流促進」「自立共生」の六つを柱に、新兵庫の再生に向けて諸施策を展開しますとされました。

平成7年度（阪神淡路大震災）以降最大の積極予算（一般会計ベース）

一般会計 2兆2045億
（4.1%増） 総額特別
企業会計含む） 3兆3431億円

経済不況を受け、県税収入は法人県民税を中心に522億円少ない5443億

円となりますが、新政権での総額1兆1千億円の交付

税の増額と昨年の人事委員会勧告による人件費の大幅な削減により、新行革プラン

の財政フレームからは収支改善がなされましたが、

県債500億円の発行と県債管理基金384億円の取り

崩しがなされました。平成22年度末で県債残高（借金）

は、特別・企業会計含めて4兆9208億円です。その利息は実に803億円に上ります。

以下、知事の提案説明から抜粋いたします。

（具体的な神崎郡関係は、4頁に記載）

【安全安心の兵庫】

その一、

自然災害への備え

（総合的な治水・治山対策）

全県域を対象とした緊急5カ年計画に基づき、山の管理の徹底、谷筋の治山砂防施設の整備、あわせて、中上流の河川改修等を行います。山の管理を徹底するため、災害に強い森づくりを拡充し、緊急防災林の整備や針葉樹林と広葉樹林の混交林化などを進めます。谷筋ごとに、治山、砂防施設を計画的に整備し、流木や土砂から人家や福祉施設等を守ります。

（つぶやき：この利息分が事業に使えたら…!）

その二、

緊急経済雇用対策として、

（中小企業の経営円滑化）

中小企業の経営安定化と投資促進を図るため、中小企業融資制度の融資目標額を今年度同様、過去最大の5000億円確保して、積極的な支援を行います。まず、資金繰り支援として、既に実施している経営円滑化貸付や借換貸付、長期資金の拡充措置を継続するほか、企業再生貸付の限度額を2億円に倍増します。

設備投資促進貸付や新技術・新事業創造貸付の創設

日本政策金融公庫を利用する場合の新規開業貸付の要件緩和などにより、意欲ある事業展開を応援する。また、建設業者の農業、介護、福祉、環境への新たな事業展開を支援します。

保するとともに、前倒し発注により年度始めの工事の空白期間を解消し、需要創出を図ります。中小企業への発注や小規模林道、耐震補強の促進などきめ細かな地域対策も進めます。

（仕事と生活の回復）

緊急的な雇用就業機会の創出については、引き続き新年度は、介護、農林水産環境・エネルギーなどの分野に重点を置いて、新たに213事業、3891人分の雇用を創出します。また、離職者の再就職に向けた総合就職相談の実施、介護、福祉、IT分野等での職業訓練と住宅困窮者への家賃補助の拡充など、仕事と生活の回復を総合的に支援します。

（長寿社会の基盤づくり）

介護保険施設の整備を進め、認知症対策として、相談、初期対応等を行う認知症疾患医療センターを8カ所に拡大し、地域のサポート体制を強化します。高齢化が進む集合住宅に介護サービス事業所を誘致し、活動リーダーの育成などを通じて住民との協働による支援体制をつくりまします。

（障害のある人の自立支援）

今年度改定する「ひょうご障害者福祉プラン」に基づき事業者の運営の支援や困難事例を抱える市町に助言する生活支援ワーカーを全圏域へ配置します。保護者が病気などで付き添えない場合のガイドヘルパーの派遣などに取り組みまします。重症心身障害児等の生活支援では、介護老人保健施設を活用したモデル的な短期入所事業の実施や訪問看護

その三は、医療体制の確保です。

その四は、健康ひょうごの推進です。

その五は、ユニバーサル社

その六は、

の活用を行います。障害者のしごと確保対策では、しごと開拓推進員や障害者の職場定着を支える支援員の設置、障害者就業・生活支援センターの拡充や県庁舎、空き店舗を活用した授産製品の販売支援等に取り組みまします。

（福祉基盤の充実）

施設職員の処遇改善や合同就職説明会の開催などにより福祉人材を確保まします。11月にオープン予定の兵庫県福祉センターを拠点にさまざまな福祉活動を支援まします。老朽化した清水が丘学園は、心理的ケアが必要な児童への支援や外来相談の全県拠点としての改築整備を進め、機能を充実まします。国民年金を受けられない外国籍の高齢者や障害者への福祉給付金を拡充まします。

（生活先進の兵庫）

その一は、少子対策の推進です。

（こどもを産み育てやすい環境の整備）

待機児童対策と多様な保育ニーズへの対応を図るため、安心こども基金や法人県民税の超過課税を活用しながら、幼保一元化をめざす認定こども園や保育所の整備を促進するとともに、駅前での賃貸等による分園保育所や、駅周辺で子どもを預かり本園まで送迎する駅前ステーション、事業所内保育施設の整備等を支援まします。また、病児・病後児に対し看護師が保育所内で看護を行うモデル事業の実施や、延長保育の促進な

（有効需要の創出）

公共事業は、今年度の2月補正予算と合わせた14カ月予算で21年度当初並を確



ど保育サービスを充実します。親子体験講座や子ども

その二は、教育の推進です。

（学力向上対策の充実等）

の解消を図る乳幼児子育て応援事業を、対象を拡大して実施します。乳幼児等医療費助成に加えて、小学4年生から中学3年生までを対象に、入院医療費の自己負担を軽減する「こども医療費助成制度」を開始します。0歳、1歳児の小児細菌性髄膜炎の予防のため、市町が行うワクチン接種を支援します。

（地域ぐるみの子育て環境づくり）

読み聞かせの実施などにより、まちの子育てひろばの活動を充実します。地域で子育てに取り組むNPOの立ち上げの支援、地域グループによる子育て応援ネットや児童委員による巡回相談活動の強化など、見守り体制を充実し、地域ぐるみの子育て環境を整えます。

（高校の実質無償化等）

国による高校無償化の取組に加え、専修学校等を含む私立高校について、低所得世帯等への授業料軽減などをを行います。

（県立大学の充実）

県立大学については、経営専門職大学院を開設するほか、経済経営研究所を政

その四は、家庭と地域の再構築です。

【環境優先の兵庫】

その一は、地球環境問題への対応です。
その二は、生物多様性の保全です。

【産業立県の兵庫】

その一は、兵庫の成長戦略です。

その二は、次世代産業、科学技術の振興です。

その三は、中小企業、地場産業の活性化です。

その四は、商店街の活性化です。

（商店街の活性化とまちの再生）

衰退や空洞化の兆しが見える商店街については、まちづくりの観点から、空き店舗や空き地を活用した商業施設の整備や、老朽アーケードの撤去等を支援し、

まちの再生を行います。こ

うした取組を金融面でも支えるため、新たに商店街振興組合等が行うカラー舗装や施設整備等を対象とする限度額3億円の「商店街活性化貸付」と、企業や個人事業者の起業や新規投資のための限度額7000万円

の「商店活性化貸付」を創設します。

その五は、産業を支える人づくりです。

（産業を支える人づくり）

ものづくり人材の育成と青少年等へのものづくり体験の場となる「ものづくり大学校」（仮称）について、教育研修施設の23年4月開校に向け、整備を進めます。また、大工、建築、機械加工などの高度技能者の養成、小中学生のものづくり体験実習や親子を対象とした技能体験イベントの開催など、ものづくり大学校先行事業を実施します。

その六は、仕事と生活のバランスです。

（仕事と生活のバランス）

常時雇用者300人以下の事業主を対象に、育児・介護等による離職者の再雇用を支援します。これらの事業主の常時雇用20人以下の事業所が、育児、介護休業取得者の代替要員を確保する場合には、その賃金の一部を助成します。

その七は、農林水産業の振興です。

（食料供給力の向上と担い手育成）

国の戸別所得補償モデル対策の積極的な活用や、多毛作、稲作農家と畜産農家の連携を進める「ひょうご食料供給基地強化プロジェクト」の推進により、農業経営の安定化と地域農業の基盤を整えます。中山間地域等については、直接支払交付金を活用して条件不利地域の農業生産基盤の

維持に努めます。

担い手の育成対策では、集落営農育成員等の設置により組織化や分散農地の集

約を行うとともに、認定農業者が実践的で高度な経営管理を学ぶ養成塾を開設します。また、「ひょうご就業支援センター」での就業相談の充実や離農者からの円滑な経営継承への支援、企業の農業参入の促進などにより、新たな担い手を育てます。

（林業の振興）

林業、木材産業の活性化と風水害に備えた山の管理の徹底を図るため、「ひょうご林内路網1000km整備プラン」に基づき、林道、作業道の整備を計画的に進め、12月に稼働予定の県産木材供給センターなど各地の製材工場への安定的な原木供給体制を確立し、県産木材の利用促進に取り組みます。
（水産業の振興）

【交流促進の兵庫】

その一は、ツーリズムの振興です。
その二は、国際交流と多文化共生の推進です。
その三は、個性を生かした地域づくりです。

（個性を生かした地域づくり）

兵庫の持つ多彩な文化や歴史、自然を生かし、地域の魅力づくりを進めます。

日本でのジャズ発祥の地「KOBÉ」を生かした取組、環境共生型のまちづくりをめざす「尼崎21世紀の森」づくり、「いなみ野ため池ミュージアム」を核とした地域づくり、自然、歴史、特産物等の魅力を発信する「ハートにくつと北播磨」の展開、「山陰海岸ジオパーク」でつなぐ丹後、但馬、因幡の広域振興、「たんば恐竜と哺乳類の化石を活用したまちづくり」など、地域主体の元気なプロジェクトを推進します。また、

黒川、一庫など都心に近い北摂の里山風景、映画「ノルウェイの森」のロケ地となった砥峰、峰山高原、佐用町平福の歴史的景観や六粟の岩塊流、弥生時代の大規模鉄器生産集落「淡路の垣内遺跡」など、自然や歴史を生かした地域づくりに取り組みます。

【自立共生の兵庫】

その一は、地域再生大作戦の展開です。

（地域再生大作戦の展開）

まず、市町合併等により活力が低下している旧町中心部では、「まちなか振興モデル事業」により、購買施設や金融機関など生活利便施設の立地を促進し、既存施設の有効活用も進めながら、にぎわいの回復を図ります。人口減少と高齢化が進む小規模集落では、都市のパートナーとの交流を核に活性化をめざす「小規模集落元気作戦」を展開し、

交流拠点施設の整備や特産品の開発、販売等を支援します。また、中山間地域の「農の再生」推進事業により、企業による農山村支援や複数農家による生産販売施設の導入への支援など、農業の観点から施策を推進します。多自然居住地域では、「ふるさと自立計画推進モデル事業」を推進し、地域資源を生かした交流などの主体的な実践活動や、古民家再生など交流施設の整備等を通じて、都市住民の定住促進や交流の活性化を図ります。こうした地域主体の取組を地域外からもサポートする「地域再生応援事業」を実施し、大学生やNPO等と地域の人たちが協働して取り組む先導的な実践活動を応援します。また、地域貢献活動に参画して獲得するポイントで地域再生への応援等に還元できる「ひょうごポイント制度」を創設します。



神河町寺前（片岡建設）

その二は、全県・地域ビジョンの推進です。
その三は、参画と協働の推進です。
その四は、地方分権の推進

神崎郡関係主なハード事業

詳しい箇所付けは、次回に示させていただきます。

順調に進捗する継続事業 及び新規事業及び永年の懸 案事業

- ・ 県道長谷市川線
 施工中の市川町美佐地内に寺前地内（片岡建設敷地内）でほぼ全線開通（0.5 km）
- ・ 県道岩屋生野線
 合併支援助路として重点配分（岩屋地内 1.9 km）
- ・ 県道三木穴粟線
 福崎町南田原交差点改良（0.3 km）
- ・ 県道三木穴粟線
 福崎町大貫自転車歩道設置工事の新規（第2期）工事（0.6 km）
- ・ 市川支川振古川
 市川町谷地区圃場整備後の懸案事業着工（23年度工事着工に向け用地買収）
- ・ 治山事業
 治山ダムの設置（神河町川上他2地区：8基）、落石対策（神河町越知）
- ・ 砂防事業
 下村谷川（神河町作畑）、
- ・ 前田川（市川町上牛尾）他
- ・ ほ場整備事業
 福崎町田口、福崎町西治
- ・ 基幹用水路改修事業
 福崎町千束
- ・ 中山間地域総合整備事業（農道）
 神河町宮野・南小田・長谷
- ・ ため池改修事業：福崎町内姫ヶ池他2池



福崎町大貫



市川町谷 振古川



議員定数削減について

兵庫県議会議員定数は92人(法令上限定数111人)

【見直し内容】

・定数

ですが、1票の格差あるいは市町合併による選挙区等の見直し等が生じており、厳しい財状況でもあることから今回の見直しとなりま

(1人減)

西脇市・多可郡選挙区1
+1人↓西脇市及び多可郡
選挙区1人(1人減)

1人↓たつの市及び揖保郡
選挙区2人

《附則》
佐用郡選挙区は災害のこ
ともあり今回は特別選挙区
として存置し、次回から他
の区域と併せて1選挙区と
する。また、養父郡選挙区
についても特別選挙区とし
て存置するが、検討を要す
る。

特定選挙区とは

人口を定数で割った議員
1人当たりの人口が、 $\frac{1}{2}$ に
満たない選挙区をいいます。
ちなみに今回の改正により
神崎郡は、0・762人で
あり、小さい順に佐用郡、
養父市、相生市、朝来市、
美方郡、加東市、宍粟市、
篠山市、神崎郡となっております。

予算委員会で次の質問をいたしました

内容・答弁は後日ホームページ等に掲載します。

【財政】

- 1 県民に対する財政状況の説明について
- 2 財政状況の基本的認識と持続可能な財政構造について
- 1 本県の財政状況の認識について
- 2 平成21年度の収支見込みと財政フレームについて
- 3 基金管理と適正な事業

執行について

- ①基金積立等のルールについて
- ②適正な事業執行について
- ④基準財政需要額と事業費の比較について
- 3 選択と集中について
- 4 歳入確保・歳出削減の努力について
- (1)県税収入の確保について

【企画県民部①】

- 1 地域再生大作戦について
- (1)小規模集落元気作戦の今年度の成果について
- (2)今後の展開について

【教育委員会】

- 1 実効ある「ひょうご教育創造プラン」の推進について
- (1)子どもたちへの認識について
- (2)「生きる力」について
- (3)魅力ある学校づくりの推進について
- (4)道徳教育について
- (5)人権教育について
- (6)食育・米飯給食の推進について

【病院局】

- 1 県立病院12病院の役割について
- (1)県立病院の役割について
- (2)政策医療の提供が経営に与える影響について
- 2 県立病院改革収支フレームについて
- 3 一般会計からの繰入金について
- 4 減価償却費について

東奔西走（活動日誌）



予算特別委員会

紙面の関係で1月以降とします。

1月4日	仕事始め・新年交礼会（県公館）
6日	連合兵庫新春旗開き：メリケンパーク神戸、嶋田福崎町長新春のつどい：エルデホール
8日	福崎町新年交礼会：エルデホール
9日	神河町商工会新年交礼会：商工会館
10日	神河町・市川町成人式、市川町消防団初出式：川辺小
12日	連合姫路新春旗開き：ホテル日航
～14日	政務調査会（各部局新年度予算関係）：県庁
14日	福崎駅前開発打合せ：福崎町役場
17日	福崎町消防団初出式：田原小
18日	幹事団当番：県庁
19日	文教常任委員会、議員定数等調査特別委員会：県庁
20～21日	文教常任委員会管内調査（東播磨、淡路管内）
21日	福崎警察署術科始め式：福崎警察署
22日	「障害者福祉プラン」「新子ども未来プラン」当局説明：県庁
23日	連合政策フォーラム講演会：神戸市教育会館
26日	幹事団当番：県庁
28日～29日	会派議員団班別管外調査（高知県）
30日	衆議院議員山口つよしを励ます会：サンシャイン青山
	参議院議員松岡とおる国政報告会：市川町文化センター
2月1日	神崎郡町会議員研修会：大河内保健福祉センター
2日	神崎郡3町長、区長会長要望・意見交換会：神河町役場
3日	インフルエンザワクチン等申し入れ行動立会い：県庁
6日	神崎ロータリークラブ結成35周年記念式典：エルデホール
	神崎郡ソフトボール協会総会：夕陽ヶ丘
8日	幹事団会議：県庁
10日	議運、議員定数等調査特別委員会、幹事団会議・議員団総会、新年度予算当局説明：県庁

2月11日	神崎郡人権啓発講演会：神河町グリンデルホール
	はりま市川ライオンズクラブ結成35周年記念式典：ラビーナ姫路
15日	幹事団当番：県庁
16日	文教常任委員会：県庁
17日	議会（第1日）、幹事団会議・議員団総会：県庁
18日	中播磨地域政策懇話会（新年度事業）：姫路総合庁舎
19日	幹事団会議・議員団総会、議員団政務調査会：県庁
21日	全国市川マラソン大会：市川町
22日	本会議（第2日）、幹事団会議・議員団総会：県庁
23日	本会議（第3日、代表質問）、議員定数等調査特別委員会：県庁
23・24日	本会議（第3・4日、一般質問）：県庁
25日	本会議（第5日、一般質問）、予算特別委員会、幹事団会議・議員団総会：県庁
3月1日	文教常任委員会、議員定数等調査特別委員会、予算特別委員会：県庁
2日	本会議（第6日、各常任委員会委員長報告、討論・表決）、幹事団会議・議員団総会：県庁
3日～5日	予算特別委員会（財政・企画県民部、健康福祉部、病院局）：県庁
6日	神河町民ゴルフ大会
7日	神崎郡駅伝大会：市川町、西播ブロック地域啓発総合福祉大会：市川町保健福祉センター
8～11日	予算特別委員会（産業労働部・労働委員会・公安委員会・農政環境部・県土整備部・企業庁・教育委員会・企画県民部教育課及び大学課）：県庁
12日	幹事団当番：県庁
15日	予算特別委員会（総括質問）：県庁
18日	本会議（第7日、当初予算関係討論表決）、文教常任委員会、幹事団会議・議員団総会、議員団政務調査会（国際社会）：県庁
19日	文教常任委員会、議会政務調査会（大阪空港問題）：県庁
20日	市川町商工会町民ゴルフ大会
23日	本会議（第8日・最終日、繰越議案等討論・表決）、幹事団会議・議員団総会：県庁
25日～26日	議員団管外調査（長野県）
29日	精神保健衛生研究会議員有志政務調査会（川西市むぎのめ作業所、作業所わかば）
	「高校無償化を考える」緊急兵庫県集会：神戸市勤労会館

皆さまの県政に対するご意見をお聞かせください。

たくさんのご意見をお待ちしています。事務所へもお気軽に立ち寄りください。

《連絡先》 上野ひでかず事務所

〒679-2204 神崎郡福崎町西田原 1253-2 F

TEL/FAX (0790) 22-6805 E-mail / ueno@kanzaki-gun.org